藤田幸久待望の新刊！ ご案内
（参議院議員）

「みんながおかしいと思った、今も続く7年間の対テロ戦争」の原点が9.11テロだった。福田、麻生首相、各大臣を直撃した藤田幸久参議院議員による世界初の本格的な「9.11テロ疑惑の国会質疑」。マスコミ沈黙の中、YouTube実況で数カ国語に翻訳され、世界が絶賛。EU議会、豪州会議招聘を経て、ついにオバマ政権誕生により始まった「ブッシュの戦争」の検証に。世界の911トゥルサー（911真相解明運動家）待望の本書刊行。

「9.11を合理的に直視・再考することの大切さ」寺島実郎（日本総研会長）推薦！

「安手の陰謀史観ではなく、粘り強く事実を追い詰めることは、現代史を謎に終わらせないために不可欠である」（本書オビより）

全国書店で予約受付中！
（配本開始3月23日予定）

「9.11テロ疑惑国会追及 オバマ米国は変われるか」

藤田幸久（参議院議員）編著
共著：デヴィッド・レイ・グリフィン（神学者） きくちゆみ（平和活動家）
童子丸開（著述家・翻訳家） 千早（平和活動家）

定価：1,500円+税　四六判／336頁　発行：クラブハウス
ISBN978-4-906496-43-3

目次より

序章
第1章　世界に広まる疑問の声（藤田幸久）
1. 国会の爆弾質問映像が数ヶ国語になって世界に配信
2. 米国への監視の目を光らせる欧州の要人たち
3. 各国から渦巻く疑問の声
（1）政治家、議員
（2）軍人、パイロット、航空管制官、事故調査官、警察官
（3）外交官、CIA、FBI、ジャーナリスト、目撃者
（4）建築士、構造専門家、科学者、生存者
コラム　欧州とオセアニアへも広がる「9.11トゥルサー」の波（千早）
第2章　日本にも広がり始めた疑問の声（藤田幸久）
1. 日本人犠牲者に対して配慮の欠けた日本政府の対応
2. 与党、防衛省、外務省関係者の中にもあった疑問の声
3. 「テロは基本的には戦争ではなく、犯罪」という福田総理の答弁
4. 小泉総理に対する遺族の直訴
5. 7年経ってテロ被害者救済に動き始めた日本政府
6. 9.11委員会委員長も疑問を呈する報告書の内容を一切照会しない日本政府
7. 在日米軍基地の役割はアフガニスタンとイラク作戦が中心
第3章　ブッシュ弾劾決議と再調査への要望（藤田幸久）
1. ドイツ連銀総裁が暴露した株、金、原油市場のインサイダー取引
2. ブッシュ大統領への弾劾決議が委員会に送付
3. テロの事前情報を無視して予防しなかったアメリカ
4. 日本の専門家たちによる様々な現地調査
5. 国際的な「9.11の真実を求める政治指導者たち」の登場
第4章　9.11への鮮明な疑問（童子丸開）
1. いったい誰が犯人なのか？
2. ここは本当にUA93便の墜落現場なのか？
3. ペンタゴンに突入した機体はどこに？
4. 飛行機の突入なしで「沈んだ」第7ビル
第5章　ツインタワー全面崩壊への明確な視点（童子丸開）
1. 消えた上層階と巨大な「ガレキの噴水」
2. 150メートルも飛散した巨大な鉄骨群
3. 上から下まで微粒子に砕かれたコンクリート
4. 存在しない「ツインタワー崩壊の公式見解」
5. 広がる「公式の説明」への疑問
第6章　日本の9.11真相究明運動と9.11調査委員会報告書への25の疑問
（デヴィッド・レイ・グリフィン／きくちゆみ訳）
巻末資料
国会質疑／テロは犯罪か、それとも戦争か？　収録
9.11調査委員会共同議長への質問状と回答全文　収録
2001年9月11日――その日アメリカはどう動いたか
「9.11テロ事件」関連参考資料一覧

藤田幸久出版記念会＆参議院拉致問題特別委員長就任祝い

日時／4月8日（水）
17:00　開場
17:30～18:30　対談
「脱9.11体制と今後の世界と政治」岩見隆夫＆藤田幸久
18:30～20:00　懇親会
会場／東京ドームホテル 東京都文京区後楽1-3-61 TEL:03-5805-2111
会費／1万円

お問い合わせは下記の藤田幸久事務所までお願いいたします。
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館205号室　藤田幸久事務所
TEL:03-3508-8205 FAX:03-5512-2205

藤田幸久ふじたゆきひさ

1950年茨城県生まれ。水戸一高、慶應大学哲学科卒。世界的な紛争解決NGOの国際MRAや難民を助ける会などで、これまでに世界45ヶ国を訪問。各地でボランティア活動。森進一さんの「じゃがいもの会」の難民支援プロジェクトをアフリカで立ち上げ。カンボジア和平、日米欧の労使関係、通商問題、企業倫理の国際会議を主宰。1996年から初の国際NGO出身政治家として衆議院議員を2期務める（東京比例区・東京12区）。対人地雷禁止活動を推進。官僚の天下りや不正入札問題を追及。民主党国際局長としてイラク日本人人質事件やスマトラ沖津波で、現地に飛び支援活動。2007年参議院議員当選（茨城選挙区）。民主党ネクスト防衛副大臣として、防衛省不祥事問題やクラスター爆弾禁止条約などに取り組む。現在、参議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長。聖学院大学非常勤講師。著書に「政治家になりたくなかった政治家　NGOが政治を変える」（ジャパンタイムズ）、「国連と地球市民社会の新しい地平」（共著、東進堂）、翻訳書に「日本の進路を決めた10年」（ジャパンタイムズ）、「ソ連の反体制派たち」（サイマル出版会）がある。